

「いざ行動に移ろう」



クラブ奉仕・拡大増強委員会
新大阪RC

委員長 **松川 雅典**

横山守雄ガバナーは第2660地区の86クラブの会長宛にアンケート調査を行い、各ロータリークラブで増強目標を立ててもらいました。その結果を合計すると2009年7月には、2660地区では199名の純増がなされて4351名となっているはずですが、しかしこれは容易なことではありません。現状は以下のとおりであるからです。

すなわち2000年6月30日現在84クラブ5010名（うち女性163名）が2008年2月末で4153名ですから、この7年間で857名減少したこととなります。その減少の原因分析は過去いろいろなされまた議論がなされてきました。すなわち①失われた10年と言われるバブル崩壊による長期不況と地域格差の増大、②ロータリークラブの魅力が失われた、③少子高齢化と若い人の価値観の変化、④NPOに代表されるボランティア組織の台頭、⑤ロータリアンの高齢化とロータリークラブ運営のマンネリ化、などが言われてきました。そして増強の対策については、①楽しく面白い例会にする、②若い人、女性の入会を進める、③会費を安くし、地域のボ

ランティアに目覚めた人を入会させる、などの方向性は毎年毎年言われ続けてきたところでもあります。しかし口だけで実行されることなく、掛け声だけに終わってきたというのが実情です。

そこで2660地区クラブ奉仕・拡大増強委員会では、今年度はロータリアンの減少の原因分析とか増強対策の議論は終わりにして、「いざ行動に移ろう」と考えております。2008年5月31日（土）午後1時から大阪厚生年金会館において、各クラブの次期会長、増強担当委員長に出席を頂き「会員はこうやって増やせ、との疑問に答える」との題目でパネルディスカッションを開催しました。そしてそこで増強に成功したクラブの手法を学びました。その手法を各クラブに紹介します。どうぞ増強に向けて具体的な行動の開始をお願いします。